

ちよつとそこまで『ちかば旅』

ちかば旅⑬



案内人 シニアデビュー講座
丹後古墳巡り散策会 参加者

①丹後古代の里資料館

丹後古代の里資料館は縄文・弥生・古墳時代を中心とする石器・土器・玉や鏡類を常設展示しています。



丹後王国の歴史を再確認できます。再現のジオラマが精巧につくられています。土器の保存状態が良く、古墳の成型も素晴らしいです。丹後の歴史を感じられます。

②竹野神社

竹野神社は 9 代開化天皇の妃となった「竹野媛」が晩年帰郷した際に「天照皇大神」を祀って創建したといわれる由緒ある神社です。旧竹野郡で唯一の大社の社格を誇り、拝殿には天皇家ゆかりを意味する「菊の御紋（菊花紋）」と皇室専用の家紋「桐花紋」が彫られています。



江戸時代に再建した建物でありおもむきがあり一度は訪れてほしい建物です。狛犬も出雲型と丹後型が見られる石材は島根県産の来持石で造られているので風化が進んでいる。中門の唐破風のデザインも必見です。

③神明山古墳

古墳時代前期後半（4 世紀後半）の前方後円墳で墳丘長 190m、後円部 129m、網野銚子山古墳に次ぐ日本海側最大級の前方後円墳です。



神明山古墳の頂上からの眺めは絶景です。

④片山古墳・産土山古墳

片山古墳はこうもりの穴・本塚ともいわれ、ほぼ南に開口する横穴式石室墳で、現在は墳丘の盛土は残っておらず、巨大な天井石が露出しています。丹後でも規模の大きい石室です。

産土山古墳は片山古墳の東北に接しており、神社再建の際に長持型石棺が発見された。



片山古墳は大きな天井石をどのように乗せたのかとても不思議です。石室の中も広く深いので、覗いても真っ暗なので、懐中電灯で照らすと広さや大きさが見えると思います。

⑤大成古墳群

6 世紀末から 7 世紀初めにかけて 13 基の横穴式石室墳からなる古墳群です。京丹後市指定文化財にも指定されています。



大成古墳群の 7～9 の石室を見ることができます。石室には立岩の安山岩も使用されているそうです。ジオパークにも指定されており雄大な眺めでハイキングコースにもおすすめです。



神明山古墳からの景色

<おすすめ>

・丹後古代の里資料館で古墳について学んでから古墳を巡るとより一層楽しめます！

<持って行くと良いもの>

- ・カメラ
- ・懐中電灯



大成古墳群からの景色

